

感謝・感激・感動

- 一、お客様に感謝します
- 一、社会に感激を与えます
- 一、喜びと感動を分かち合

第5回 FSPインタビュー 株式会社ギフトホーム

×

さ た け た け お

佐竹 壮夫

代表取締役

養老町生まれ、養老町育ち。大学卒業後、様々な職場で経験を重ね、2003年に株式会社大顕設備（現在の株式会社ギフトホーム）に二代目として入社。当時、忘年会を企画するも社員が誰も参加してくれないという“忘年会事件”が発生。それを機に会社のあり方を見つめ直し、今では社員にも地域にも信頼される存在に。

いつまでも“ギフト”暮らしたい。

Q、住宅の新築まで手がけるようになるまで、どんな経緯があったのですか？

先代から当社（当時は株式会社大顕設備）を継いだ時は、何をしたいのかさっぱり分かりませんでした。当時は主に水道設備の工事を行っており、資格を取得したり、以前お付き合いのあった会社に訪問したりして少しずつ仕事を頂きましたが、営業を知らない私は社員に営業を任せきりにしてしまいました。売上は増えていきましたが、赤字が膨らみ始め、朝6時から夜10時まで日曜も正月もなく働き続けた結果、社員もバラバラになっていきました。

Q、会社の特徴を教えてください！

はじめは水道屋として営業しており、ましたが、現在は住宅のリフォームや新築まで手がけています。地域に密着した営業を目指し、地元のお客様の要望にしっかりお応えできるよう、住宅ローンのことや住宅の性能についても日々勉強しています。



FSP(フレンドシップパートナー)って？

養老町公式ファンクラブである『YORO SUPPORTER WORLD』に入会した会員と一緒に養老町を盛りあげていくお店や企業です。FSP登録店舗で会員証を提示するとお得にお買物や飲食が楽しめます。YSW公式HPにて登録店舗を紹介しています。
<https://www.town.yoro.gifu.jp/docs/2022031700023/>



地域に密着した営業を心がけています！

Q、なぜ“ギフト”なのですか？

私たちがお客様に届けたいのは、ただの建物ではありません。「家ができたあとの家族の笑顔あふれる幸せな生活を贈りたい」、「いつまでも「ギフトと暮らしたい」」そんな想いを込めました。

このままでは倒産してしまうと思いを止め、地域に密着した営業に方針転換しました。細かい水道修理にも迅速に対応することを心がけ、早朝出勤、深夜残業を止め、休日を明確にしておくことで、社員とのコミュニケーションがとれ、社員の雰囲気も良くなりました。会社として、次第に地元のお客様からも信頼いただけるようになり、リフォームや新築もできないかと相談を頂くようになりました。せっかくお客様から依頼されたのに、それに応えられないではいけないと感じ、要望にしっかりと応えて喜んでいただけるよう、新築工事もできる会社にしようと決意しました。こうして、『ギフトホーム』としてスタートを切りました。

株式会社ギフトホーム

住 岐阜県養老郡養老町大坪559

☎ 0584-32-0768

SUPPORTER特典
工事費に使えるクーポンプレゼント
(詳細はお問い合わせください)

※内容は取材当時のものです。

Q、SUPPORTERの皆さんに一言お願いします。

お客様の住宅のお困りごとを解決するために日々仕事をしています。地域密着にこだわりの、スピード対応をモットーとしております。新築・住宅リフォーム・メンテナンスは、ぜひギフトホームにご相談ください！



「ご家族の笑顔」を提供いたします♪